



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 09, April 2015

# Newsletter

## 平成 27 年度事業計画・収支予算

財団は3月5日、理事会及び評議員会を開催し、「平成27年度事業計画案」及び「平成27年度収支予算案」等を審議し、提案どおり議決・同意を得ました。その概要は次のとおりです。

## 平成 27 年度事業計画

日本学術協力財団は、我が国の学術の発展と学術関係団体への協力のための活動を積極的に行う。『学術の動向』の発行の維持、発行部数の増加、配布範囲の拡大に全力を傾注するとともに、昨年10月に発足した日本学術会議の新しいメンバーとの連携を確立し、更に存立基盤を強化するとともに、将来の事業発展の方向を検討する。

### 1. 学術情報の収集調査及び情報発信・普及啓発

#### (1) 『学術の動向』の発行

最新の学術の動向を広く各界に発信するとともに、日本学術会議の活動状況を周知させるため、総合学術情報誌『学術の動向』を発行し、全国の大学図書館等や日本学術会議関係者、財団賛助会員等に配布する。

#### (2) 『学術会議叢書』・『日学新書』の発行

学術及び学術研究の成果を社会一般に普及するため、日本学術会議が行った公開講演会や各種シンポジウム等の記録をまとめた『学術会議叢書』を発行する。

また、『学術の動向』に掲載された記事に関連資料を加え、わかりやすい内容に再編集した『日学新書』を発行する。

『学術会議叢書』、『日学新書』については多くの方々に購読していただけるよう、可能な限り多くの図書館等に配布するよう努める。なお、『学術会議叢書』の一部については、民間団体からの助成を受けて、全国の国公立図書館・大学附属図書館等に寄贈する。

### 2. 学術連携推進事業

#### (1) 科学者連携事業

日本学術会議主催の講演会、シンポジウム等の事業に対する支援を行う。

#### (2) 学協会に関する実態調査及び調査結果の情報発信

『データベース「学会名鑑」』については、日本学術会議及び(独)科学技術振興機構と連携して、データベースの集約範囲の確定、内容の充実を図るとともに、その利用拡大に努める。

this issue

平成27年度事業計画  
平成27年度収支予算  
データベース学会名鑑について  
計報  
寄附金及び賛助会費の税額控除  
学術関係団体事務支援事業  
無料広告掲載のご案内  
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人  
日本学術協力財団  
〒106-0031  
東京都港区西麻布 3-24-20  
TEL 03-3403-9788  
FAX 03-5410-1822  
URL  
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

2015年4月1日発行

(3) 国際学術交流事業の実施

日本学術会議が開催する国際会議、シンポジウム等への開催協力を行うとともに、必要に応じ国際学術団体の活動の支援を行う。

(4) 学術調査研究事業の実施

国・政府関係機関等からの受託により、学術に関する各種調査・研究等を行う。

3. 学術関係団体事務支援事業

日本学術会議同友会、日本医歯薬アカデミー及び日本農学アカデミー等の学協会からの要請を受けて、各団体の活動にかかる事務の支援を行う。

4. 出版物の販売活動の強化等

『学術の動向』、『学術会議叢書』、『日学新書』等については、幅広く学術情報の普及を図り、財政的に安定化するために、販売促進の強化に努める。また、『学術の動向』に有料広告を積極的に募り、同誌の安定的な発行に資する。

5. 運営基盤等の強化

当財団は、学術に関する知識や情報の普及を図る活動を行っている。今後、当財団の果たすべき役割も一層重要性が増していることから、当財団の運営基盤の強化を促進する。

(1) 財団経費の縮減に努める。

(2) 賛助会員の加入促進を図るとともに、寄附金及び助成金の増加を図る。

特に、日本学術会議との連携強化のため、日本学術会議会員および連携会員の全員を特別維持会員に加入してもらうよう、機会あるたびに積極的に勧誘する。

(3) 事務局の事務執行能力の強化に努める。

## 平成27年度収支予算

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予 算
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 事業活動収入	
基本財産運用益	328
受取会費	15,104
事業収益	14,396
受取補助金等	1,500
受取寄付金	3,000
雑収益	10
経常収益計	34,338
(2) 経常費用	
事業費	28,467
管理費	5,871
経常費用計	34,338
当期経常増減額	0
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	0
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
一般正味財産期末残高	35,180
II 指定正味財産増減の部	0
指定正味財産期末残高	26,590
III 正味財産期末残高	61,770

## データベース学会名鑑について

財団は、平成23年度より、日本学術会議、科学技術振興機構と連携して「データベース学会名鑑」の運用を行っております。

さて、間もなく、公開から4年が経過し、改定期を迎えております。現在のサイトでの運用は本年9月までを予定しており、今後、内容を新たに「新学会名鑑（仮）」の開設を予定しております。

現在、三機関での協議を進めておりますが、今回の改定では、掲載学協会を日本学術会議・協力学術研究団体と一致させることが決定いたしました。また、本システムが、我が国の学協会の実態を示す基礎データを持つデータベースとなるよう、調査項目の見直しを検討しております。

現在、鋭意、作業を進めております。各学術団体の関係者の皆様におかれましては、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

## 訃報 近藤次郎 元会長

財団の元会長である近藤次郎先生が、3月29日、98歳でご逝去されました。

先生は、航空工学や応用解析学をご専門とされ、大気汚染予測などの公害対策や環境政策の推進にご尽力されました。また、1985年から3期にわたり日本学術会議の会長を務められ、1995年から当財団の副会長に、2005年から2年にわたり会長にご就任いただき、財団の発展に多大なる貢献をいただきました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

## 寄附金及び賛助会費の税額控除について

財団は、2013年4月1日に公益財団法人として再出発いたしました。

再出発に当たり、各種規定の新設及び改正を行うなど公益財団法人としての基盤を整備するとともに、賛助会費・寄附金等の税額控除の規定の適用について申請を行いました。

賛助会費・寄附金等の税額控除につきましては、2013年6月4日に認可が下り、同日以降の財団に対する寄附金・賛助会費につきましては、特定公益増進法人への寄附金として、確定申告により税額控除等の税制上の優遇措置が受けられることとなりました。

個人の方の財団に対する寄附金及び賛助会費につきましては、確定申告により、所得税の**税額控除**または**所得控除**のいずれかを選択して受けることができます。

また、お振込みいただいた翌年1月1日現在、東京都にお住まいの方は、確定申告により、**個人住民税の税額控除**が受けられます。

法人の場合は、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄附金に係る損金算入限度額に算入できます。

なお、本年1月以降にお振込みいただいた賛助会費の領収証は、本年12月初旬頃にお送りする予定です。

当財団の事業は、皆様からいただきました賛助会費・寄附金・助成金をもとに行われており、事業の継続と発展のために、皆様からのご支援は不可欠なものとなっております。

今後とも、当財団へご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 学術関係団体事務支援事業

【日本農学アカデミー】

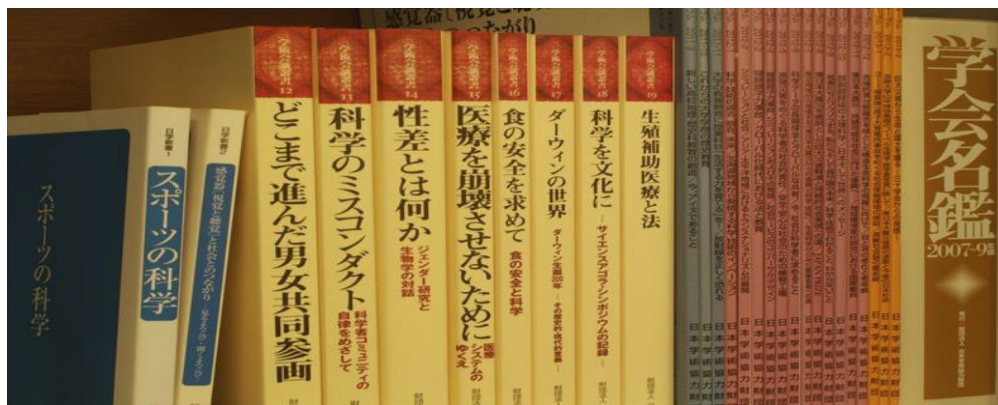
3月7日（土）東京大学農学部弥生講堂において「人類を支える微生物の力」が開催され、財団がその支援を行いました。

## 月刊誌『学術の動向』への無料広告掲載のご案内

財団では、平成21年度から**団体賛助会員である学協会等**が、『学術の動向』に広告掲載を希望する場合には、**年間1回無料**で掲載することとしています。学協会等の総会や主催する講演会などのご案内等に、是非、ご活用下さいませようご案内いたします。

なお、年2回以上の広告掲載をご希望される場合は、2回目以降は有料となりますが、賛助会員割引により、2割引きの価格でご利用いただけます。

詳細につきましては、財団事務局までお問い合わせください。



**データベース  
学会名鑑**

<http://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>

## 出版物のご案内 ※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

月刊誌 学術の動向 本体価格 720 円＋税（送料込）  
 年間購読 8,230 円（税・送料込）  
 賛助会員は無料配布

- '15 年 1 月号 高齢社会の若者論—労働・福祉・コミュニティを考える—  
 高齢者が安心して暮らせる健康コミュニティを目指して
- 2 月号 赤崎・天野・中村博士のノーベル物理学賞受賞に際して  
 福島原子力事故 PART2  
 人工降雨による渇水・豪雨軽減と水資源
- 3 月号 理学・工学分野における科学・夢ロードマップ 2014  
 グローバル化時代における民主的統治とは

学術会議叢書 A5 判・本体価格 1,800 円＋税（送料別）  
 賛助会員は割引価格 1,750 円（税・送料込）

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理（品切れ）       | 12 どこまで進んだ男女共同参画           |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 13 科学のミスコンダクト（品切れ）         |
| 3 男女共同参画社会（品切れ）        | 14 性差とは何か（品切れ）             |
| 4 エネルギー学を考える（品切れ）      | 15 医療を崩壊させないために            |
| 5 多発する事故から何を学ぶか        | 16 食の安全を求めて                |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命（品切れ）       | 17 グーウィンの世界                |
| 7 先端科学技術と法             | 18 科学を文化に                  |
| 8 食の安全と安心を守る（品切れ）      | 19 生殖補助医療と法                |
| 9 医療事故は予防できるか          | 20 放射能除染の土壌科学              |
| 10 今、なぜ、若者の理科離れか（品切れ）  | 21 高レベル放射性廃棄物の<br>最終処分について |
| 11 舞踊と身体表現             |                            |

※品切れ図書につきましては、コピーサービスを行っています。

日学新書 新書判・本体価格 750 円＋税（送料別）  
 賛助会員は割引価格 730 円（税・送料込）

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり
- 3 地球社会の環境ビジョン—これからの環境学—（品切れ）

◎ 当財団の運営、ニューズレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。  
 今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

データベース「学会名鑑」は、従来、財団が冊子媒体で発行していた『学会名鑑』を基に、約 2,100 の国内学術団体に対して調査を行い、日本学術会議、独立行政法人科学技術振興機構（JST）及び日本学術協力財団が協力して主要学術団体の各種データを収録したものです。下記 URL からいつでもご覧いただけます。

<http://gakkai.jst.go.jp/>

## 公益財団法人日本学術協力財団

〒106-0031  
 東京都港区西麻布 3-24-20  
 TEL 03-3403-9788  
 03-5410-0242  
 FAX 03-5410-1822  
 URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>